

正しい書き順

11月に突入し、炬燵が欲しい寒さになりました。さて、今回の特集は「正しい書き順」です。この記事を読んで「炬燵」を正しい書き順で書けるようになります。 (水無月)

書き順入門編

～大原則～

1. 上から下へ、左から右へ
2. 横を先に書く
3. 中を先に書く
4. 外側の囲いから書く
5. 左はらいを先に書く
6. つらぬく線は最後に書く
7. 「によう」は後、「たれ」は先
8. 上にも下にもつきぬけない縦線は、上の部分・縦線・下の部分の順に書く
9. 横線が長く、左はらいの線が短い字は、左はらいから書く
10. 横線が短く、左はらいの線が長い字は、横線から書く

大原則その9

「右」や「有」などは、よく見ると横線の方が長くなっています。この場合は、左はらいを先に書きます。

ナ 右
ナ 有

大原則その10

その9に比べ、「左」などは、左はらいの方が長くなっています。この場合は、横線を先に書きます。

ナ 左
ナ 友

大原則の例外

いくら大原則とはいえ、例外は存在します。大原則その2・その3・その4・その6の例外のうち、簡単なものを右に掲載しました。このような例外は他にもたくさんあります。みなさんも探してみてください。

横を後に書く場合

口 田

中を後に書く場合

少 火

囲みを閉じて終わる場合

区 世

つらぬく線を先に書く場合

十 廿

～コラム～

書き順は漢字だけにあるものではありません。例えばカタカナにだって書き順はあります。カタカナの中でも間違われやすい「ヲ」の書き順、あなたはわかりますか。

ニ ヌ ヨ

書き順発展編

発展編では、少々クセのある書き順の漢字を紹介します。すべてわかったら友達にでも自慢しましょう。

書き順1「何」

ウォーミングアップです。最後の画を先に書いてしまう人がいるようなのでご注意ください。

何 何 何 何

書き順2「飛」

間違えやすい字として、有名になった例です。真ん中の線の書き順に用心しましょう。

飛 飛 飛 飛

書き順3「臣」

1画目が縦であることを間違えやすいです。その後は、上から順番に書けばいいだけです。

臣 臣 臣 臣

書き順4「淵」

意外と正確に書ける人が少ない漢字です。最後の2画は非常に間違えやすいのでご注意ください。

淵 淵 淵 淵

書き順5「昇」

簡単そうに見えて、割と書けない漢字です。6画目に横線を書いてしまわないように。

昇 昇 昇 昇

書き順6「凸」

一般的な楷書では、縦線から書き始めます。出典によっては横線からと紹介されています。

凸 凸 凸 凸

書き順7「凹」

1画目が意外かもしれません。「凹」も「凸」も5画であることを覚えておきましょう。

凹 凹 凹 凹

書き順8「卍」

6画です。難しいです。日常生活において、使用することはないと思いますが……。

卍 卍 卍 卍